



慶應義塾大学ビジネス・スクール

営業マネジャー 伊藤理恵の葛藤

5

深夜0時11分、今夜も終電まで一人で会社の机に向かい、来週に迫った締切の原稿制作を黙々とこなす伊藤理恵の姿がそこにはあった。朝から終電まで、ときには朝方まで仕事をする、そんなハードな日々を何の疑いもなくがむしやりに突き進んできた7年間を振り返り、ふと、「いつまでこんな働き方を自分にするのだろうか？もう体力が持たないかもしれない...。」と不安がよぎり、辞めたいと思い始めていた。

10

伊藤理恵の仕事（新人～マネジャーになるまで）

伊藤理恵、現在32歳。中途採用で関西を拠点とした求人広告専門の代理店A社に営業職として入社したのが7年前、今は12人の部下を率いて神戸営業所の営業マネジャーを務めている。

15

前職はフリーでMC（結婚式の司会者や商品のデモンストレーションなどを行う仕事）やラジオのDJをやっていた伊藤はフリーアナウンサーになる夢を25歳で諦めて、今の会社に営業職で入社した。最初の配属先は新たに開所されたばかりだった堺営業所であった。入社当初、同僚は3人だった。当時、堺営業所の立ち上げを任されたマネジャーの橋本真知子と、新卒の営業マン鈴木慎吾とアシスタント、そして伊藤を含めた4人のメンバーで構成された小規模な事業所であった。まだA社は創成期であり、社長が事業所の家賃をとにかく安くしたいということもあり、駅から徒歩8分のファミリー向けマンションの1室が堺営業所となった。会社に勤めたことがなかった伊藤はここから忙しくハードな日々をスタートさせた。

20

25

業務内容は求人情報サービスを提供する大手B社が全国各エリアに発行する求人情報誌に掲載するクライアントの新規開拓営業と現在掲載している既存クライアントの原稿提案と制作、および掲載枠&コマ数拡大と掲載更新のための営業であった。B社から業務委託でこれらの営業と制作を請け負う代理

.....
本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクール教授 渡辺直登監修のもと、望月百合子が作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 渡辺直登、望月百合子（2015年1月作成）